

自動走行技術が創る未来社会

約130年前にカール・ベンツが最初のガソリンエンジンで走る自動車を発明して以来、画期的な性能向上と生産性の向上による低価格化が進み、自動車は私たちの生活や経済活動に欠かせないものになりました。

近年の電子制御や情報通信の技術革新により、自動車が危険を感知して自動的にブレーキを掛けたり、車線から逸脱することを防ぐ操舵制御を行うこともできるようになりました。また、見通しの悪い場所や遠方

の状況を無線通信で受け取り、ドライバーに知らせたり危険回避のための制御を行うことも可能になってきました。さらに進化して、自動走行も現実のものとなりつつあります。

自動走行にはどのような技術が使われているのでしょうか。自動走行システムの研究開発の最前線で活動する技術者が最新映像などを用いてわかりやすく説明します。世界の自動車メーカーやIT企業がしのぎを削るこの分野のグローバルな動きについても解説します。

ところで、自動走行システムは誰もが安心して使えるのでしょうか。自動走行が実現すると私たちの暮らしや街の様子はどのように変わのでしょうか。このような疑問に、制度的課題に詳しい専門家や、利用者の視点から分析するジャーナリストが答えます。また、来場者との対話の時間をつくり、素朴な疑問や期待について語り合います。



企画提供者	SIP自動走行システム推進委員会
開催日	15日（日）10:30～12:00
会場	A会場（日本科学未来館）7階 未来館ホール
形式	シンポジウム / トークセッション
URL	http://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/iinkai/jidousoukou.html
備考	

タイムテーブル：

11月15日（日）受付10：00 開始10：30 終了12：00